



# 自然豊かな高山村での就農を目指して



高山村



R4新規就農者 小山真吾

# 高山村について

## 地理

- ・長野県北東部に位置
- ・JR長野駅から電車・バスを利用して約50分

## 気候

- ・年間を通じて気温の日較差が大きい  
夏季では最高気温が30度を超える  
冬季では月の平均気温が氷点下になる
- ・年間降水量が850ミリ程度と少ない
- ・日当たりの良い扇状地では、  
特産のりんごやぶどうなどの果樹を中心とした  
農業を展開



よろしく!  
(お願いします。)



信州高山村観光協会  
観光PRキャラクター  
高山タカオ

【出典：高山村観光協会HP】

# 目次

- 就農するまでの経緯
  - 就農前～就農のきっかけ
  - 就農するまで
  - 里親研修中のこと
- 就農後のこと
  - 経営内容（作付、販売状況、設備等）
  - 経営概況
  - 高山村に就農して感じたこと
  - 今後の課題、目標、夢
- 就農希望者に伝えたいこと

# 就農するまでの経緯

## ～就農前のこと、就農のきっかけ、就農するまで～

出身：東京都町田市

職歴：大学院修了後、化学薬品メーカーで研究職として8年間勤務（大阪6年→埼玉2年）

趣味：登山やキャンプなどアウトドア全般

### 屋外で仕事をしたい→以前から興味があった農業をしたい

➡ 自然豊かで、良い山がたくさんある長野県を候補地とする。  
就農相談会で「新規就農里親研修」の存在を知り活用を検討。

➡ 長野県の就農コーディネーターに相談し、  
「実際に農業体験をした方がよい」とアドバイスを受けた。

# 就農するまでの経緯

～就農前のこと、就農のきっかけ、就農するまで～

## 農業体験（合計9回参加）

- 2018/10 東御市
- 2019/2 高山村
- 2019/4 高山村
- 2019/5 小布施
- 2019/6 高山村
- 2019/7 須高(須坂、小布施、高山合同)
- 2019/8 須坂市  
→高山村で就農したいと希望を伝える
- 2019/10 高山村(体験後、打ち合わせ)
- 2019/11 高山村(体験後、打ち合わせ)



# 就農するまでの経緯

～就農前のこと、就農のきっかけ、就農するまで～

◇体験を通してわかったこと・感じたこと

- ・単純作業の繰り返しだが、自分達に合っているように感じた。
- ・桃の収穫を体験。  
桃の細かい毛が原因で二人とも手が痒くなってしまった。  
→桃の栽培は自分達には向かないことがわかった。
- ・就農体験では先輩里親研修生と話す機会がある。  
→不安なこと(収入面、地域に馴染めるか…等)を質問でき、不安を解消。
- ・気になる地域に実際に行くことで、自分達のイメージに合うかを確認。  
→体験を通して就農後のイメージを固めていった。

# 就農するまでの経緯

～就農前のこと、就農のきっかけ、就農するまで～



山の眺望の良さ  
出会う人の優しさ  
果物のおいしさ



高山村で就農することを決心

村の担当者や県の就農コーディネーター、  
里親さんと相談しながら、  
就農に向けて準備を進めていった。

# 就農するまでの経緯

## ～里親研修中のこと～

### 相談相手

- ・高山村の就農担当者
- ・県の就農担当者
- ・里親さん

### 希望

- ・ぶどうとりんごを栽培したい
- ・りんごの新わい化栽培をしたい
- ・棚建てを学びたい

→里親さんの協力のもと、就農後の栽培希望に沿って農地、棚建て資材などを研修中に用意してもらい、りんご新わい化栽培用棚・ぶどう棚を建設。

→棚の構造を把握でき、その後、棚の不具合があった際には自分で対応できるようになった。



# 就農するまでの経緯

## ～里親研修中のこと～

### 研修1年目

- ・作業の方法や目的を説明していただきながら、一年を通じた作業を学ぶ。
- ・わからないことはその都度確認し、新たに教わったことはメモや写真に残すようにした。

### 研修2年目

- ・1年目に教わったことの実践。  
里親に相談しながら、自分が独立後引き継ぐ予定の圃場を管理
- ・定期的に里親に圃場をチェックしていただき、アドバイスをいただいた。

\* 農閑期(冬場)は、ぶどうとりんごの剪定を主に行った。

\* 研修が休みの日は、スキー場でアルバイト。

# 就農後のこと

## ～経営内容～



### 作付

作目	面積	品種
りんご	63a	シナノリップ、秋映、シナノスイート、シナノゴールド ぐんま名月、サンふじ、その他
ぶどう	66a	ナガノパープル、種なし巨峰、シャインマスカット クイーンルージュ®

**合計 129a**



### 販売実績(2024年)

JA出荷55%、集荷業者37%、直売8%(個人販売5%、フリマアプリ3%)

### 設備等

スピードスプレーヤー(SS)(1台)、乗用草刈機(2台)、軽トラック(1台)、棚下作業車(1台)、自動草刈機(1台)、高所作業機(1台)、ウッドチップパー(1台)、運搬車(1台)、耕うん機(1台)

# 就農後のこと

## ～経営概況～

### 機械・施設等

- ・ 就農時必要な機械類は、農地の地主や知人に譲ってもらった。  
荷造りをする作業場、資材や農機具の保管場所は、先輩農業者の倉庫の一角を借りている。
- ・ 国の「**経営発展支援事業**」「**青年等就農資金**」を利用して、高所作業機、棚下作業車、自動草刈機、ウッドチップパー等を省力化・効率化のために導入。

### 労働力

普段は1人で管理。将来的には夫婦で農業をする予定。  
農繁期は妻に加えて知人のつてでお手伝いさんをお願いしたり、友人や両親に手伝ってもらっている。

# 就農後のこと

## ～高山村に就農して感じたこと～

- **里親さん**に圃場や棚、スピードスプレーヤー(SS)の確保などにご尽力頂いたため、スムーズに就農できた。
- 高山村は**同時期に新規就農した人が多い**。  
困ったことやわからないことを相談すると体験談や失敗談を話してくれたり、解決法を教えてもらえたりする。
- **地域のベテラン農業者**の方々も優しく見守ってくれていて、声を掛けてくれたりアドバイスをもらえたりする。

# 就農後のこと

## ～今後の課題、目標、夢～

### ◇今後の課題

- ・ 人材確保
- ・ 販路の拡大
- ・ 収入の安定
- ・ 農薬や肥料、土壌に関する知識不足

### ◇目標

- ・ DayWorkなどを利用した**人材確保**
- ・ **新技術の導入等**により作業の省力化・効率化を図る
- ・ **新品種・新しい作目**に挑戦する
- ・ 土壌や農薬について理解を深める

### ◇夢

- ・ 農作業体験や収穫体験などを行い、  
**高山村の果物のおいしさや農業のことを多くの人に知ってもらいたい**
- ・ **子供たちと過ごす時間、趣味に費やす時間の確保・充実**を図っていききたい

# 就農希望者に伝えたいこと

- **農業体験は大切**

実際に体験することで就農後の仕事のイメージが明確になる。  
自分に合う作目を探すのにも役立つ。

- **地域の人との繋がりは大切**

移住後すぐに地域の消防団に所属。  
地区の組長をやらせていただいたことで、地区内で顔見知りが増えた。  
高山村の青年農業者の集まり(地球クラブ)にも所属し、農業者同士の繋がりも広げている。

- **困ったときに相談できる人・頼れる人を見つけること**

農業体験先の先輩農業者が、移住後も気にかけてくださり、頼りにさせてもらっている。  
また、新規就農者同士で定期的に交流し、情報交換をしている。